

☆☆今月のテーマ☆☆

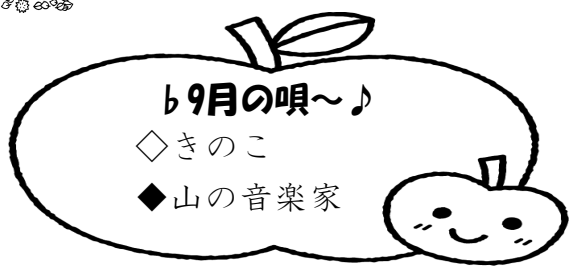
- ・季節の移り変わりに気づき、秋の風情を感じ楽しむ
- ・気温や活動に応じて衣服の調節を行い、快適に過ごす

～今月の園内学習～

- ・足し算…9の段
- ・掛け算…9の段
- ・数字カード…1～20の数字
- ・食べ物カード…9月の旬な食べ物
- ・漢字カード…小学校1学年で習う漢字30字
- ・魚への漢字…「あゆ」「にしん」
- ・木への漢字…「まつ」「かつら」
- ・絵画カード…接吻ほか
- ・歴史カード…原敬ほか
- ・ひらがなカード…「や行」
- ・国旗カード…ドイツほかヨーロッパ諸国
- ・地理カード…広島県ほかの中国地方
- ・声に出して読みたい日本語…論語ほか

～保育のポイント～

～哲学者ロバート・フルガム著～  
 人間、どう生きるか、どのようにふるまい、どんな気持ちで日々を送ればいいのか、本当に知ってはいくならないことを、わたしは全部残らず幼稚園で教わった。人生の知恵は大学院という山のとっぺんにあるのではなく、日曜学校の砂場に埋まっていたのである。この本は、もちろん「人生には砂場遊び」が重要ということを示している訳ではなく、大人になって人生を振り返ると「充実した人生を送るために必要なことは、全て子ども時代に教わったことで、しかも決して難しいことではない」ということ。例えば、「何でも皆で共有し、ずるをせず、人を叩かず、使ったものを片付け、人のものは使わないこと、誰かを傷つけたら謝ること」などで、これは幼少期に教えられることです。そして、これは年齢に関係なく人間関係の基本的ルールと言え、これが守られれば安心安全で平等な社会の実現に繋がります。また、幼少期は成長と共に「いろんなことをしてバランスの取れた生活を送ること」が心身ともに健全な社会生活をする上で欠かせない要素であり、それは充実した人生を送るためには、子ども時代に教えられたこれらのことが鍵となり、生涯にわたり大切にすべきこと」として本書で紹介されています。改めて、幼少期の過ごし方の重要性を再考し、実践してみるのに最適な一冊と言えるのではないかと思います、紹介させていただき次第です。



- 行事予定
- ・リミック…1日 [年中・年長] 21日 [年少]
  - ・避難訓練…13日
  - ・書道教室…7日・21日 [年長]
  - ・体操教室…15日 [年少] 19日 [年中・年長]
  - ・えいご…26日
  - ・身体測定…26日



さくら組だより



今年はいつよりも早い夏でうだるような暑さが先月ピークを迎え、こどもたちは身体の火照りを和らげてくれる水遊びでホッと一息をつく日々を過ごしていました。ですから、当初はお着替えも多少、手間取り気味でしたが、次第に「こっちが前よね?」と衣服の前後も判断したり、裏返しの服を元通りに直すなどいろんなことが自分で判断して出来るようになってきたり、時にはお互いに声を掛けて確認し合って解決していく姿に成長を感じました。新年度以降、園で5ヶ月間、同じ釜の飯を食った仲なのでお友だち同士の絆も深まってきたようでおもちゃの貸し借りも段々と双方の思いやりを働かせる気づかひもできるようになってきているようです。これからもよく成長を見守り、季節の変わり目における体調管理をして元気に過ごしていけるようにしたいと思います。



ひまわり組だより



先月は朝からノックアウトをさせられそうな暑さで圧倒され、さらに蝉の大合唱にダメ押しを食らう感じの本当に厳しい暑さの1ヶ月となりました。みんなはプールで水鉄砲などの水の掛け合いやシャワーなどで適度に”涼”をとって元気に過ごすことができていました。今回、リミック教室のテーマはズバリ「夏」、リズム遊びで楽しい思い出づくりをしました。その前に、手遊びの「あたま・かた・ひざ・ボン」のリズム遊びや向かい合った二人同士でリズムに合わせて拍子打ちをして楽しみました。その後、海の絵カードで「カニさん」や「お魚」などと言い当てクイズで暫し盛り上がった後は、ピアノのリズムに合わせて身体を”ゆ～ら、ゆ～～ら”と揺らしたり、Vサインの指の形にして”チョッキン、チョッキン”と海の水生動物へと大変身大会で楽しいひとときとなっていました。その他、ままごと遊びではお客とお店役に分かれた見立て遊びが盛んです。これからもよく見守ってきたいと思います。



ゆり組だより



連日、厳しい日差しで正直心が折れてしまいそうな日々の中、こどもたちの萎れてしまいそうな心が「今日は水遊びだよぉ～」の掛け声でシャキッと元気を取り戻し、大きな病気もなく夏を乗り越えることができた感じがします。年長児になると絵の具活動と書道教室が特別にはじまります。前者は当初は右も左も分からない、不安だらけのスタートでしたが、段々と準備や段取りなどの要領が分かってきたからでしょうか、今は本日描こうとするテーマに集中し、何を描き、どう表現していこうかということに集中し、より絵の具活動が活発な展開となっています。今回は夏の風物詩「ひまわり」を各自が頭の中に思い浮かべ、慎重かつ丁寧に下絵から絵の具塗りまで集中してできていました。また、後者は教室開始前に鉛筆を削ったり、補助クリップを装着して準備万端の状態先生の来園を待つことにしています。先生と朝の挨拶を交わして課題の配布プリントでなぞり書きをして、ひらがなの書き順をしっかりと頭に入れるように取り組んでいます。この9月中頃からは小学校への生活リズム調整のためにお昼寝がなくなり、その時間を利用して復習や予習が今後は展開されるのではないかと期待しています。



給食室だより

～夏バテ&秋バテ、さようなら～

気候変動の問題が深刻で、世界の平均気温が産業革命期より約1.15度上昇したと言われ、実際日本でも毎年のように40度近くが記録されるようになってきました。今年も長い残暑との我慢比べが必要のようです。酷暑の夏に寒暖差疲労、冷たい飲食による倦怠感や夏バテによる栄養失調などで夏バテとなり、それを秋になっても引きずるのを「秋バテ」と言うそうです。秋は「女心と秋の空」と言われるように天気の変化と残暑の日中と冷え込む朝晩の寒暖差など、身体がその変化に順応していく寒冷順化が追いつかないために「身体がだるい」、「疲れがとれない」や「やる気が出ない」といった症状に陥りやすいのです。そこで、「夏&秋バテ」解消法として(1)冷たいものはNGで常温のものを摂取(たとえ、常温でも一気飲みは胃腸を弱らせるのでNG。熱中症対策のように小まめな摂取をしましょう)(2)そうめんなどの糖質偏重にはタンパク質の錦糸卵、ぶっかけうどんなどにはたんぱく質やビタミンB群の補給に納豆やミネラル豊富な海藻類をトッピングに加えましょう。(3)夏バテ等から食欲減退気味の場合はビタミンB1を多く含む納豆、豚肉、ごまや雑穀、タンパク質は肉や魚、豆類や卵を、そして汗で失われるミネラルは海藻類を一品に加えて元気を取り戻せるようにしましょう!